

第10回常任理事会会議録

日時 平成21年2月13日(金)午後2時～午後3時30分
場所 日本歯科医師会 801会議室
出席者 <会長> 江藤一洋
<副会長> 黒崎紀正
<総務理事> 住友雅人
<常任理事> 高津茂樹、高木忠雄、佐藤田鶴子、平井敏博、
江里口 彰、恵比須繁之、宮崎 隆、栗原英見、
荒木孝二
□日本歯科総合研究機構
<研究部長> 石井拓男
欠席者 <副会長> 井出吉信
<常任理事> 川添堯彬、土屋友幸、後藤滋巳

[議長 江藤会長]

1. 開 会

黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。

2. 挨拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

住友総務理事より、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

□一般会務報告(平成21年1月16日～同2月12日)

□第9回常任理事会会議録(平成21年1月16日開催)

2) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき、会計現況報告がなされた。

□学会会計収支決算書(平成20年4月1日～平成21年1月31日)

□第21回日本歯科医学会学術大会会計収支決算書

(平成20年4月1日～平成21年1月31日)

3) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

▶厚生労働省の照会事項に対する回答について

黒崎副会長より、厚労省より本学会宛に4項目の照会があった旨資料に基づき説明。このうち2項目について、関係学会から意見を聴取した上で、本学会としての見解を厚労省保険局・上條歯科医療管理官宛に回答した旨報告。

また、次期診療報酬改定に向けた医療技術評価再評価提案書に係わる説明会を3月17日(火)、歯科医師会館で開催することについて、近日常中にも各分科会宛に通知する旨補足説明。

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし。

(3) 学会機構改革の推進

特になし。

(4) 専門医制度の確立

特になし。

(5) 国際交流の推進

特になし。

4) 会長報告

江藤会長より、①サイクロン被害に対し本学会が寄付した義援金30万円に対し、ミャンマー歯科医師会より感謝状が贈呈されたこと、②日歯第11回理事会における報告事項及び協議事項について、資料に基づき報告。

4. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

▶診療ガイドラインについて

江藤会長より、各学会が作成した各種診療ガイドラインを収載する「診療ガイドラインライブラリー」を構築するとともに、同ライブラリーの収載内容をMindsホームページ等に掲載するなど、医療担当者、患者及び国民がいつでも誰でも閲覧できるよう体制を整備していきたいと説明。

まず、診療ガイドラインがライブラリー収載に適合するか否かを評価するためのチェックシート等の作成を含め、今後の運営方針等について検討するために、Minds 関係者である中山健夫京大教授と吉田雅博氏に参画を求めて、関係者による打合せ会を開催することとした。

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし。

(3) 学会機構改革の推進

特になし。

(4) 専門医制度の確立

特になし。

(5) 国際交流の推進

特になし。

2) 事業計画の推進

(1) 日本画像医療システム工業会（JIRA）基準委員会委員の推薦について
住友総務理事より、日本画像医療システム工業会（JIRA）基準委員会委員に歯科関係委員が参画していないことを受け、日歯より同工業会へ歯科関係委員の参画を要請した旨、資料に基づき報告。

これを受け、同工業会より、日本歯科放射線学会から委員適任者を推薦されたい旨の回答があったため、本学会から歯科放射線学会に対し、適任者の選出を要請したいとして諮られ、協議の結果、これを承認。

(2) バイタルサインセミナーについて

住友総務理事より、日本歯科麻酔学会と都道府県歯会が共同で開催する標記セミナーについて、本学会から日歯に対し、同セミナーの開催を提案する旨資料に基づき諮られ、協議の結果、承認。

(3) 後援名義貸与について

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、2009年度日本矯正歯科協会学術大会を除く3つのシンポジウム等に対し、後援名義を貸与することとした。

(4) 役員派遣について

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り承認した。

3) その他

次回、第11回常任理事会を平成21年3月16日(月)午後3時より開催し、会議終了後、懇親会を行うことを確認した。

5. 閉 会

黒崎副会長から、閉会の辞が述べられた。